

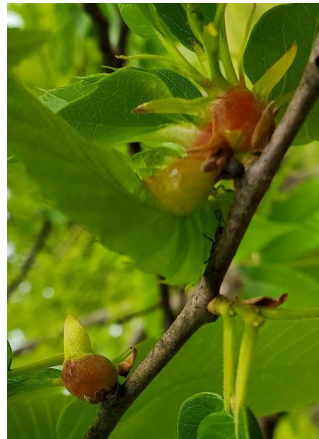
クリタマバチの防除について

2023.4.25 作成

○クリタマバチの被害を減らすには、天敵蜂を活用した防除が有効です。

○天敵蜂を保護するために、新しくできた虫えいはせん除せずに残しましょう。

クリタマバチとは



クリタマバチの虫えい（虫こぶ）


クリタマバチの虫えい断面図
（○で囲ってあるのが幼虫）

- ・クリの新芽に寄生する蜂の一種。寄生された芽は肥大して虫えい（虫こぶ）を形成。
- ・虫えいができた芽は発育が止まり、新梢が伸びないので、着穂せず減収に繋がる。
- ・虫えい内で羽化して成虫になり、6月下旬～7月中旬頃に穴をあけて脱出する。

天敵蜂を活用して防除しましょう

- ・クリタマバチの幼虫は虫えいの中で発育するため、薬剤散布による防除は難しい。
- ・クリタマバチの虫えいに産卵して幼虫に寄生する「天敵蜂」を活用した防除が有効。
- ・近年クリタマバチ被害が目立つが、害虫と天敵の発生率は拮抗して増減を繰り返す。
- ・天敵蜂を活用した防除を続けることで、徐々にクリタマバチの被害は減少していく。

【天敵蜂を活用した防除の方法】

時期	クリタマバチ	天敵蜂	作業内容
冬季	休眠	休眠後蛹化	せん定時に見つけた古い虫えいを集めて、園内に残す 古い虫えい→ 
4月	虫えい形成	羽化・産卵	新しい虫えいはせん除しない （天敵蜂の産卵場所になるため）
5月	蛹化	老熟成虫化	古い虫えいを回収して適切に処分
6月	羽化・産卵	休眠	※クリタマバチの羽化前に行う

お問い合わせ先：笠間地域農業改良普及センター（TEL 0296-72-0701）